

新新徳

第55号 2012年1月

発行日：2011年12月31日(第1版第1刷)



目次

- 1面
冬のコンサート開催
人間ドック冬季キャンペーン
- 2面～3面
(特集)
新年のご挨拶
- 4面
健康まつり
防風林再生プロジェクト
追悼
山科朝雄先生ご逝去

看護師を目指す方へ
徳洲会の奨学金制度を
利用しませんか?



●対象
看護師等養成学校に入学予定または在学する学生で、卒業後に徳洲会グループ病院への入職を希望される方。

●貸付限度額
月額5万円
(養成学校の修業年数)

●返済の免除
免許取得後、貸付期間と同期間グループ病院に就業した際は全額返済免除。
(給与は規定通り支給)

●応募受付期間
随時受付しております。

詳しくは当院総務課まで
お問合せください。

開院記念日にピアノコンサート開催

当院では患者さんやそのご家族、地域の皆さん、そして職員を対象とした、年2回ピアノニストの岳本恭治さんと山季布枝さんをお招きして院内コンサートを開催しております。

今回は、当院の開院記念日である12月1日(木)に、「冬のコンサート」ピアノ独奏&ピアノ連弾」と題して開催。昼の部には82名、そして夜の部には41名の方々にご来場いただきました。ありがとうございます。

聞いて、歌って 明るく楽しい昼の部



昼の部では、クラシック曲に加え、「紅葉」や「故郷」といった童謡、さらに「最上川舟唄」や「花笠音頭」など山形に関する曲を演奏していただき、会場の皆さんで歌いました。

リストの名曲を味わい、 生誕二百年を祝う

一方夜の部は、残り1ヶ月となっていた「リスト生誕200年」を惜しみ、リストの「愛の夢」や「ラ・カンパネラ」、ベートーヴェン「熱情」「エリーゼのため」など。また、「エーデルワイス」や「踊り明かそう」、「虹の彼方へ」といったミュージカルの楽曲が連弾で演奏されました。



平成24年3月末まで3割引 (友の会会員限定)

- かんたんドック
¥35,000 ⇒ ¥24,500
- おすすめドック
¥60,000 ⇒ ¥42,000
- 脳ドック
¥45,000 ⇒ ¥31,500
- フルコースドック
¥115,000 ⇒ ¥80,500



健康友の会会員限定
人間ドック冬季キャンペーン

平成24年1月から3月末まで、友の会会員に限り人間ドックの料金が3割引きとなります。(左記の表をご覧ください。オプション検査の追加も割引対象)友の会へのご入会は、受診当日でも可能です。予約に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

ご予約・お問い合わせは、健康管理センターまで。



副院長
濱中 秀信



院長
笹壁 弘嗣

「生命だけは平等だ」の精神で

新年明けましておめでとうございます。

私が新庄に来てから5年4ヵ月が過ぎました。昨年10月から副院長を拝命しました。

3月に地震が起きた時、私は訪問診療に出ており、ナースと一緒に患者さんの家の2階にいましたが、横揺れで始めて5分間程続きました。とても長く感じました。津波について車のラジオが警告していました。本当の津波被害についてはテレビが見えるようになってから知りましたが、想像もできません。

今年もどんなことが起きるかわかりませんが、「生命だけは平等だ」の精神で一日一日を大切にしたいと思っております。



あけましておめでとうございます

昨年7月に6階病棟が回復期リハビリ病棟として生まれ変わりました。新庄最上地域で唯一のリハビリ専用病棟です。治療後の早い時期からリハビリを始めることで、機能の低下を最小限にし、回復を早めるのが狙いです。これにより在宅への橋渡しもスムーズになることが期待できます。これまで、血液透析と慢性期医療が2つの柱でしたが、これに回復期リハビリを加えることができました。

4つ目の柱として地域全体を支える褥瘡管理を展開し始めています。これまでも入院患者さんの褥瘡治療には力を入れてきましたが、院内に限らず、在宅や介護施設の方々の力になれるよう、褥瘡対策委員会を強化していきます。幸い優秀な認定看護師もおりますので、ご期待ください。

今年の5月には真室川町に100床の介護老人保健施設が開設されます。舟形町に続いて2つ目の徳洲会グループの老健施設です。これまで手薄だった北部地域にも私たちの仲間を増やすことができます。

患者さんにとって、地域の皆さんにとって、そして職員にとってよい病院を今年も目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

特集

本年もよろしくお願いたします





事務長
成田 政彦



看護部長
大友 絹子



健康友の会
会長
須藤 喜一郎

リハビリの新庄徳洲会病院

新年明けましておめでとうございます。

旧年中はお世話になりました。

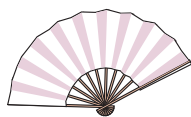
昨年は最上地区で唯一当院にあった介護療養病床を廃止し、7月から回復期リハビリ病棟を開始させて頂きました。

介護療養病床は病院の中にある介護施設ということで、利用される皆様からは容態が急変した時安心だからという声を多く頂いていましたが、しかし、私の個人的な考えではやはり介護は介護施設で受けて頂いた方が精神的に安らぐような気がします。介護施設は「暮らし」「毎日の営み」中心の考え方で成り立っていますが、病院はあくまでも「治療」中心の考えだからです。

その意味では最上地区唯一の回復期リハビリ病棟の開設は、大変意義のあることではないかと思えます。

今後の高齢化社会では、今暮らしている地域でどれだけ充実したリハビリを受けられるかが、生きる張り合いに繋がっていくような気がします。

今年も最上地区に少しでもお役に立てるように努力していきます。



竜の背に乗り、風に押されて

新年明けましておめでとうございます。

昨年は諸事難事で暗い年で終わりましたが、とにかく明けて新しい年になりました。

新たな気持ちで竜の背に乗れそうな気がします。

今年は辰年、辰は奮い起つとも言われ、勢力のある想像上の動物です。

新庄徳洲会病院の看護部では、新たな取り組みとして「もっと責任をもった看護をする」ことに力を入れ、受持看護師の写真入り名札を病室の入口に掲げています。「私が責任を持って看護をお引き受けします」との意を込めて。

また、看護の経過記録を「誰が見ても患者さんの様子がわかる」記述に様式変更しました。ありのままの様子を記述することによってご家族の方にも読んでいただき、入院中の生活を知っていただけるものと思えます。

地域の皆様のご要望にお応えすべく着実に努力して参ります。

きっと今年は明るい年になると信じております。

それには皆様のご支援無くしては半歩も進みません。

地域の皆様は新庄徳洲会病院の竜の背であり押してくれる風でもあります。

今年もどうぞ引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

卒寿を迎えて

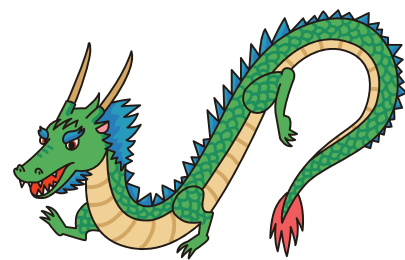
明けまして、おめでとうございます。

皆様にはご健祥にて、輝かしい新春をお迎えになられ、衷心よりお喜びを申し上げます。

小生昨年、卒寿を迎えてしまいました。かつては、新年を迎え何かと希望や新しい事に、興味を持ったものですが、高齢になりますと、特別な事が生れて来ません。「ピンピンコロリ」をモットーに、昇竜やダルマさん等を書きながら過す所存です。元気とは言っても、年が年ですので永かった会長職も、この辺で解いて頂けるのではないかと考えて居ります。

私が元気でこうして来れたのも、先ずは色々応援して下さいました多勢の皆様のお陰様と深く感謝を申し上げます。

最後になりましたが、院長先生始め病院の皆様、会員の皆様の御健祥と御多幸を衷心よりお祈り申し上げます。



被災地の防風林再生プロジェクトへ 健康まつりの出店売上を全額寄付

「防風林再生プロジェクト」(松ノ木支援実行委員会)をご存知でしょうか？
これは、クロマツの苗木を最上地域で育成し、その後東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けた仙台市若林地区沿岸部などに復興計画に沿って防風林として贈ろうという取り組みです。
当院は、今回の健康まつり開催にあたって、このプロジェクトに賛同し、当日の職員による出店の売上33万9千円を全額寄付いたしました。



↑平成23年10月21日(金)当院応接室にて売上金33万9千円を寄付いたしました。

「見て聞いて食べて楽しい新徳祭」 ご来場ありがとうございました

秋の恒例行事となった健康まつり。今年度は「見て聞いて食べて楽しい新徳祭」をテーマに平成23年10月16日(日)に開催しました。
地元の方々や当院スタッフが出演した特設ステージに加え、模擬店や手作りゲーム、そして血圧や骨密度などの無料測定を用意し、来場された皆さんに楽しんでいただきました。
なお、職員による出店の売上金については、左の記事をご覧ください。



↑はぐくみ保育園の皆さんと当院職員によるよさこいソーラン披露

平成11年春からのお付き合いの中で、私はいろんな事を学ばせていただきました。
最初がJAの方々との鎌倉旅行で、人脈の広さに驚かされ、かつろくの里開設後、母の入所を快く受けて下さり、最近では吉村知事にも紹介していただきました。
寒い冬にはつたや本店でもてなして下さり、私にとっては慈父のごとき存在でした。



開院10周年記念式典での山科先生(平成20年12月)

山科朝雄先生ご逝去の訃報に触れ、心から哀悼の意を表します。
先生はつい最近、痛風ではなにかと丁度私が当直をしていた晩に診察においてになりました。
息子さんご夫婦とお出でになり、いつもながらのご様子で、時々あの柔らかな笑顔を浮かべられ、家庭円満でうらやましい限りでした。これが最後の診察になろうとは夢にも思いませんでした。

私は山科先生はなかなかあつくの強い方だと思えますが、とてもあっさりしたところが、やはり抜く行動力をお持ちでした。
徳田虎雄理事長が当院開設にあたり、地元医師会との折衝や用地確保を真っ先に先生にお願いしたのは有名な話です。
人は自尊心よりも大切なものを持つことが大事といわれています。山科先生が使命感をもって尽力されたおかげ様で私共もこうして働くことができました。
誠にありがとうございました。
山科朝雄という最上の地上の星はこれから千の風になって徳洲会を見守って下さると思います。合掌。

総長 門間 文行

追悼 元県議会議長 山科朝雄先生ご逝去

